



週間情報



No.0716

発行日 令和7年5月7日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、防災思想の普及広報を積極的に推進するため、社会経済の発展に即応した幅広い知識・技術及び消防業務全般にわたる資料を提供し、それにより全国消防職員の資質の向上と会員相互の情報交換、さらには融和協調に寄与することを本旨として、毎月、機関誌「ほのお」を発行しております。ついては、次のとおり投稿記事を募集しています。

タイトル	執筆要領
① トップ・セカンド記事	・ 全国の消防本部に知っていただきたい事業や新たな取り組み、消防行政に役立つこと等についての記事を募集しています。 ・ 写真や図を1頁あたり2枚程使用し、2頁で3000字、4頁で6000字、6頁で9000字を目安にご執筆をお願いします。
② 知識・技術の伝承 —教えて！消防技術—	・ 過去の災害や各種事業等で工夫した点、苦慮した点、経験談等、次の世代に伝えたいこと、残したいことについて、ぜひご執筆ください。 ・ 警防、救急業務等に限らず、予防、指令やその他の消防業務全般についても記事を募集しています。
③ 女性職員の活躍推進	・ 女性消防職員の配属先、モチベーションを向上させるための施策、先進的な処遇、今後の方向性、女性職員ならではの奏功事例等についてご執筆ください。
④ 消防ワイド	・ 100文字程度のWord原稿及びJPEG画像データ（写真掲載は1枚となります。）を、担当者あてに送信願います。写真のデータはWordやExcelに貼り付けずに、JPEGデータで送付してください。 ・ 多数のご投稿をいただいております、掲載できない場合もございます。

②③ 執筆要領

- ・ 原稿：Wordで2～4頁で作成（文章全体で2000～4000文字程度）

「はじめに」として、冒頭に消防本部の構成市町村、管轄人口、管轄面積、管轄区域の主な地形、消防本部の体制、消防職員数、基本施策などの本部の規模が把握できる文章を500文字程度で、「おわりに」として、掲載記事に関すること、全国の消防本部に発信したこと等を500文字以内で執筆願います。

- ・ 画像：画素数の高いJPEG（記事に合わせ数点）※画像の説明（キャプション）は25文字程度
- ・ 図面：Word、Excel、AI等 ※PDF化していないデータ

④ 注意事項

- ・ 消防ワイドは、写真中心のビジュアルな情報伝達に重点を置いてます。速報性を求める場合や文章により伝える情報量が多い場合は、週間情報weekly@fcj.gr.jpに投稿してください。なお、消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

① ② ③は、kikakoho@fcj.gr.jp 担当 企画課 中西あてにメールをお願いします。

④消防ワイドは、honoo@ffaj-shobo.or.jp 担当 企画課 児嶋あてにメールをお願いします。

各コーナーとも、投稿いただいてもすぐに掲載できない場合や未掲載となる場合もありますのでご承知おきください。

ご投稿、心よりお待ちしております。

◆ 第107回全国消防長会財政委員会を開催

全国消防長会財政委員会

令和7年4月21日（月）、京都府京都市（ホテルオークラ京都）において、第107回全国消防長会財政委員会を開催しました。（開催地事務局：東近畿支部 相楽中部消防組合消防本部）
会議の議題等は、次のとおりです。

【報告事項】

第106回財政委員会以後の経過報告

【議題】

- 1 地方債の充実について
- 2 国庫補助事業等の充実・見直しについて
- 3 消防防災分野におけるDX推進事業への財政措置について
- 4 緊急消防援助隊活動費負担金事務の見直しについて
- 5 地方交付税の所要額の確保について
- 6 令和8年度国の予算概算要求に関する要望（案）について

【その他】

次期開催地について



【財政委員会の様子】

◆ 第34回全国消防長会総務委員会を開催

全国消防長会総務委員会

令和7年4月30日（水）、京都府京都市（ヒルトン京都）において、第34回全国消防長会総務委員会を開催しました。

会議の議題等は、次のとおりです。

【議題】

- 1 総務委員会副委員長及び同常任委員の選任について
- 2 男性消防職員育児休業の取得率向上について
- 3 次期開催地について

【消防庁講話】

- 1 消防職員委員会について
- 2 緊急消防援助隊として出動した消防職員に対する手当の支給について
- 3 女性消防吏員の更なる活躍
- 4 男性職員の育児休業等取得促進
- 5 ハラスメント等への対応
- 6 消防の広域化及び連携・協力の推進



【委員長挨拶】



【男性消防職員育児休業の取得率向上に関する講演の様子】

◆ 新庁舎の竣工式を挙げる

長門市消防本部（山口）

長門市消防本部では、令和7年4月8日（火）、老朽化に伴い移転、整備を進めていた長門市西消防署庁舎が完成し、竣工式を挙行しました。

この新庁舎は、感染防止対策として仮眠室を完全個室化し、衛生面や環境面に配慮するとともに、新たに女性専用の仮眠室と浴室を設け、女性職員にも配慮した施設となっています。

また、緊急時の迅速な出動が行えるよう、各部屋から出動準備室を効率よくつなぐ配置としました。

今後も、防災体制のさらなる強化と住民の安全・安心を守るまちづくりに努めてまいります。



【竣工式の様子】



【新庁舎】

◆ 救助活動用ボートの寄贈式を実施

茨城西南広域消防本部（茨城）

茨城西南広域消防本部では、令和7年4月14日（月）、ヤマハ発動機株式会社から、救助活動用ボートの寄贈を受け、寄贈式を実施しました。

このボートは、近年頻発する豪雨による河川の氾濫などの水害や水難救助活動時に活用することを目的として、同社のマリン事業におけるFRPボートの開発技術を生かし、専用設計されたものです。

また、船体は、機動性・安定性・強度・剛性に優れており、がれきが多い現場や沿岸での救助活動が対応可能となるとともに、前方開閉式のゲート構造により、救助者が単独で要救助者を水面から引き上げることができるなど、迅速に救助活動を行うことができます。

今後は、開発の背景にある熱意や苦労を理解するとともに、水害や水難救助活動時などで最大限に活用してまいります。



【寄贈式の様子】

訓練

◆ 「新規採用職員配置前研修」に伴う消防長効果確認を実施

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和7年4月17日（木）、令和7年度新規採用職員に対し、「新規採用職員配置前研修」に伴う消防長効果確認を実施しました。

この研修は、「消防職員として最低限の知識及び技術を習得し、新規採用職員の就業を円滑にする」ことを目的として、当消防局職員の中から選ばれた指導員による指導のもと、毎年実施しているものです。

当日は、同月1日（火）から行ってきた同研修の訓練成果を確認し、市民の生命・財産を守るという強い使命を胸に各所属へ配置されました。



【効果確認の様子】



【効果確認終了後の記念撮影】

◆ 解体予定の建物を活用した警防活動訓練を実施

さいたま市消防局（埼玉）

さいたま市消防局では、令和7年4月7日（月）、8日（火）の2日間、解体予定の建物を活用した警防活動訓練を実施しました。

この訓練は、実際の建物を活用した訓練を行い、資機材の取り扱いとドア開放などの破壊活動に必要な知識・技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、日頃の訓練では実施することが困難なシャッターの切断訓練、ドアの開放訓練、窓ガラスの破壊訓練を行い、経験の浅い隊員にとって充実した訓練となりました。

今後も、実践的かつ効果的な訓練を継続し、災害対応能力の向上を図るとともに、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「館林消防団機関員講習会・部隊訓練」を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和7年4月13日（日）、館林消防団と合同で、「館林消防団機関員講習会・部隊訓練」を実施しました。

機関員講習会では、当消防本部の職員が消防ポンプ車の構造に関する知識、操作手順について指導したほか、部隊訓練では、部隊が連携した活動を行い、指揮命令系統の確認と組織としての一体感を醸成することができました。

災害現場では、地域防災体制の中核となる消防団との緊密な連携が求められることから、今後も、消防団との連携強化を図るとともに、有事の際に的確かつ迅速な活動ができる体制づくりに努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の建物を活用した消防活動訓練を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和7年4月11日（金）、14日（月）、15日（火）の3日間、管内にある国土舘大学世田谷キャンパスにおいて解体予定の建物を活用した消防活動訓練を実施しました。

この訓練は、普段の訓練では経験することができない、実在する建物の防火戸などを破壊する訓練を行うことで、実践的な災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

訓練に初めて参加した経験の浅い女性職員から、「エンジンカッターで防火戸を切断するのは初めてで、大変貴重な経験ができ、日頃の訓練が大切だと再認識しました。」との感想を聞くことができました。

今後も、管内事業所の協力を得ながら、精強な消防部隊の育成に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 水難救助訓練を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和7年4月17日（木）、那覇市西消防署管轄内のビーチに隣接するダイビングスポットにおいて、水難救助隊を対象とした水難救助訓練を実施しました。

沖縄県内では、全国に先駆けて海開きすることから、マリンレジャーの機会が増え水難事故の危険性も高まっています。

この訓練は、市内の海岸や河川における水難事故に備えるため、毎月実施しているもので、当日は、水難救助に係る技能と連携要領を確認しました。

今後も訓練を継続し、市民、県民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

そ の 他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

勝山市消防本部（福井）

勝山市消防本部では、令和7年4月22日（火）、消防協力者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年3月4日（火）に発生した建物火災において、近くに居住している消防協力者の2人が火災を発見し、119番通報を行った後に、炎が噴出する建物から逃げ遅れた足の不自由な高齢者を安全な場所に避難誘導したものです。

消防協力者2人の的確な行動は、人命救助に大いに貢献いただきました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 「トヨタ自動車九州 Thanks Festa 2025」において消防広報を実施
直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部（福岡）

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部では、令和7年4月13日（日）、トヨタ自動車九州宮田工場で開催された「Thanks Festa 2025」において消防広報を実施しました。

このイベントは、トヨタ自動車九州と宮若市の周辺地域が連携して、地域の振興を図るとともに、日頃の感謝の気持ちを伝えることを目的として開催されたものです。

当日は、消防車両の展示を行ったほか、直鞍地区危険物安全協会と有限会社若宮から寄贈いただいた子ども用防火衣の着用ブースを設け、大人から子供まで幅広い世代で賑わいました。

また、すべてのブースで、親子で写真撮影を行うことができ、たくさんの笑顔を見ることができました。

今後も、消防広報を継続し、消防に対する理解を深めていただくとともに地域の安全と安心を築いてまいります。



【消防広報活動の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 火災・災害等即報要領の一部改正について

（消防応第44号、令和7年4月21日）

消防庁長官から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

火災・災害等即報要領（昭和59年10月15日付け消防災第267号）の一部を別紙1及び別紙2のとおり改正しましたので通知します。

貴職におかれましては、下記の改正内容に留意の上、その運用に十分配慮されるとともに、各都道府県知事におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対し、この旨周知されるようお願いいたします。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20250421oukyu44.pdf>）に掲載されています。

消防庁 国民保護・防災部 防災課 応急対策室
担 当： 四維、塚越、鎌田、古谷
TEL： 03-5253-7527

報道発表

◆ 令和7年度における国民保護に係る国と地方公共団体の共同訓練の実施

(令和7年4月25日、内閣官房、消防庁)

国民保護法に基づき、関係機関の機能確認及び相互の連携強化を行うとともに、国民の保護のための措置に対する国民の理解の促進を目的として、国、地方公共団体その他関係機関及び地域住民が一体となった訓練を実施します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/82014f8f3a49d6ccab15628684d9804d44f9970a.pdf>) に掲載されています。

(問い合わせ先)

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付

内閣参事官 渡真利 諭

参事官補佐 真保 智光、鷹尾 憲

TEL 03-3581-8485

消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室

国民保護運用室長 山下 義弘

課長補佐 関本 徹

係長 山本 準也

TEL 03-5253-7551

◆ 地方公共団体における業務継続計画・受援計画策定状況の調査結果

(令和7年4月25日、内閣府（防災担当）、消防庁)

消防庁及び内閣府では、地方公共団体における業務継続計画・受援計画の策定状況（令和6年4月1日現在）について調査を実施し、これを取りまとめましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/f2ffdbbdef22b8ae44d2f5304d4ea3ecbae4988b.pdf>) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁国民保護・防災部防災課

木村（聖）、木村（将）、三原

電話：03-5253-7525

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）付

久保田、三浦

電話：03-3501-699

◆ 地方公共団体における業務継続性確保のための非常用電源に関する調査結果

(令和7年4月25日、消防庁)

消防庁では、災害対策本部が設置される地方公共団体の庁舎における非常用電源に関する調査(令和6年4月1日現在)を実施し、これを取りまとめましたので公表します
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/120d58cb48337aec91f9ffdc5a2ad136fa813a04.pdf>) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁国民保護・防災部防災課

震災対策専門官 木村 聖洋

震災対策係長 木村 将

総務事務官 三原 尚

電話:03-5253-7525

FAX:03-5253-7535

◆ 令和7年春の褒章(消防関係)

(令和7年4月28日、消防庁)

令和7年春の褒章(消防関係)受章者は109名で、褒章別内訳は次のとおりです。

紅綬褒章 4名

黄綬褒章 7名

藍綬褒章 98名

計 109名

(受章者名等は、別紙の受章者名簿に記載されています。)

発令年月日 令和7年4月29日(火)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/120d58cb48337aec91f9ffdc5a2ad136fa813a04.pdf>) に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

渡部係長・小沼事務官

電話 03-5253-7521(直通)

E-mail:fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してください。

情報提供

◆ 日本CBRNE学会／NBCR対策推進機構共同主催シンポジウムの開催

主催：特定非営利活動法人NBCR対策推進機構、一般社団法人日本CBRNE学会

後援：全国消防長会

目的：「迫りくる大地震複合災害への対策」をテーマとして、消防庁職員、地方自治体、自衛隊、警察、自主防災組織等防災関係専門家のみでなく、広く一般市民に対して、複合災害対策準備の必要性を啓蒙していきたいと考えます。

- 1 実施日時
令和7年5月25日（日）10：00～17：00
- 2 会場（対面およびWeb（オンデマンド）配信）
国立オリンピック記念青少年総合センター（小田急線「参宮橋駅」より徒歩7分）
- 3 対象者
消防職員、防災専門家、医療従事者、自衛隊員、警察、大学関係者などの専門家に加えて、広く興味ある企業、一般市民を対象とする。
- 4 申し込み方法
シンポジウムに参加を希望される方はホームページから登録またはお問い合わせ先にご連絡ください。（参加費については、申込者にお知らせする銀行口座に振り込んでいただきます。）
- 5 参加費（事前登録をされた消防庁関係者は会員料金といたします。）
会員5,000円、非会員6,000円（会場参加、当日の昼弁当、お茶、お菓子代を含む。）
会員5,000円、非会員6,000円（オンデマンド参加）
- 6 プログラム（発表構成）

開場 受付9：00～

- (1) 開会挨拶（10：00～10：05）
石井正三（日本CBRNE学会理事長）
- (2) 講演1（10：05～10：50）
講師 濱口和久（拓殖大学防災教育研究センター長・特任教授）
「シェルターや避難所環境衛生についての問題と対策」
- (3) 講演2（10：55～11：40）
講師 遠藤敏雄（株式会社インプレッシブ、学会事務長）
「ミャンマー地震とタイ・バンコクの経験」
- (4) 昼休み（11：45～13：20）
- (5) 講演3（13：20～14：05）
講師 山崎達枝（東京医科大学看護学科准教授）
「災害看護医療」
- (6) 講演4（14：05～14：50）
講師 千先康二（日本CBRNE学会副理事長、元自衛隊中央病院病院長）
「大地震複合災害における感染症」
- (7) 講演5（14：55～15：40）
講師 長谷川学（厚労省医政局研究開発政策課長）
「大地震複合災害対応の経験と行政上の課題」
- (8) パネルディスカッション（15：45～16：30）
- (9) 閉会挨拶（16：35～16：40）
石原雅之（NBCR対策推進機構理事長）

【お問い合わせ先】

事務局：NBCR対策推進機構 東京都港区赤坂4-9-25新東洋赤坂ビル3階
担当：岡部・遠藤・石原

HP：<https://nbc-taisaku.com>

TEL：03-5829-6187 FAX：03-5829-6197 E-mail：info@nbc-taisaku.com

※ お知らせ

消防本部所在地に変更がありましたので、ご連絡いたします。

7 3 9 0 5 山口市消防本部

1 所在地

〒753-8650

山口市亀山町2番1号 山口市役所本庁舎（山口総合支所）5階

※通信指令課は現在地から変更ございません。

2 移転日

令和7年5月7日（水）

3 その他

組織体制および電話番号の変更はございません。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4／25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 児嶋

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。